



125691112久しぶりの旧友と37オープニング映像で懐かしい自分たちを見て4実行委員長の鈴木淳さん8親戚のお姉さんへ10司会の工藤希実果さん(左)、林真凜さん(右) 9国歌をピアノ演奏する佐藤辰樹さん

特集 令和5年 二十歳を祝う会

# 恵成式

令和5年恵成式参加者が生まれた平成14(2002)年の話題

- 大きなニュース：小柴昌俊氏と田中耕一氏がノーベル賞をダブル受賞、北朝鮮に拉致された日本人5人が帰国
- 流行語年間大賞：タマちゃん、W杯
- 今年の漢字：「帰」
- ベストセラー：齋藤孝『声に出して読みたい日本語』
- レコード大賞：浜崎あゆみ『Voyage』

参考：警視庁「平成14年(2002年)の主な出来事」

新しく20歳となった方が、大人として社会に羽ばたこうとすることを激励・祝福する場として、1月8日、二十歳を祝う会「恵成式」が恵那文化センターで開催されました。「恵成式」は、これまでの「成人式」を引き継いだもので、16人の令和5年恵成式実行委員が話し合って決めた名称です。実行委員は、式典のテーマや内容、記念品なども決め、当日の司会進行も担当。成年年齢が18歳に引き下げられた民法改正後の、初めての式典を創り上げました。

当日は、平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの467人が参加しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、会場に入れたのは20歳の方とごく少数の来賓のみ。保護者や出席できない方のために、サテライト会場の設置やケーブルテレビでの生放送などを行い、20歳の新たな門出を祝いました。

□お知らせ 市では、今後も20歳の方を対象に式典を行います。 問 生涯学習課 ☎26-2111(内線476)

# 恵成式当日企画

一生に一度の晴れ舞台、恵成式を楽しんでもらいたい。そんな思いで、実行委員会は式典の内容を企画しました。その一部を紹介します。



▲当日の様子をYouTubeで見ることができます

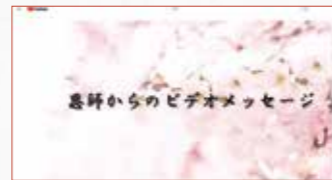


## 企画1 新二十歳によるテープカット

令和3年5月の成人式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内5会場に分散しての開催でした。そのときに、少しでも一体感を味わってもらおうと、5会場で一斉にテープカットを行ったのがきっかけで、恵那市ならではの取り組みとして引き継がれています。今回も参加者全員でテープカットを実施。それまで少し緊張気味だった参加者の表情が、明るくほころんだ瞬間でした。

## 企画2 記念品の贈呈と恩師の言葉

20歳への記念品として、市からエーナのイラスト入りオリジナルデザインのクオカードを贈呈。式典で、小坂市長から参加者を代表して山本理人さん（恵那東中卒）に手渡されました。本来なら会場に引き、直接聞きたかった恩師の言葉はビデオメッセージに。動画の撮影や編集も実行委員会が行いました。動画はインターネット上で、20歳に向けて期間限定で公開されました。



▲山本理人さん(右)

## 企画3 新二十歳による「私の思い出」

初めての取り組みとして、これまでの20年間を振り返り、心に残っている思い出を発表するコーナーを企画。佐藤直貴さん（恵那西中卒）は、年長児のときに恵那文化センターで演劇をしたことや高校の文化祭の思い出を、塚田ひよりさん（上矢作中卒）は、中学校で生徒会長を務めた思い出を発表しました。司会の実行委員とのユーモアあふれる掛け合いに、会場は笑顔に包まれました。



▲塚田ひよりさん



▲佐藤直貴さん



新名称

# 「恵成式」に込めた思い

民法改正後の20歳を祝う場として、実行委員は式典の名称を「恵成式」に改め、市は、今後使用していくことを決めました。「恵成式」という名称の由来や、込めた思いなどを実行委員に聞きました。

### 恵那市だけの新しい名称

鈴木淳実行委員長

昨年8月、初めて実行委員会を開催しました。集まる前から話題になっていたのが、「成人式」という名称をどうするかでした。式典は、これまで通り20歳が対象ですが、民法が改正され、18歳を過ぎた私たちは既に成人ですので「成人式」では違



▲話し合いをする実行委員

和感がある。そこで、みんなで話し合い、名称を変更することにしました。

前田孝哉副実行委員長

他の地域では「二十歳のつどい」や「二十歳を祝う会」といった名称がよく見られます。でも「成人式」のように、一言で表現できる式典名も欲しい。そこで、ぱっと頭に浮かんだのが「恵成式」でした。恵那の「恵」と、大人になるという意味で「成」の文字を組み合わせた造語です。「恵」は「恵み」や「恩恵」、その年の幸運をつかさどる神様がいらっしゃる場所である「恵方」など、縁起が良く、すてきな意味を持つ文字です。「けいせい」という読みは、形づくるという意味を持つ「形成」にもかけています。「恵成式」という名称はオリジナルなので、世界に一つだけ



▲昨年11月定例記者会見での新名称お披露目会

### 未来の20歳への激励も込めて

鈴木淳実行委員長

次に20歳を迎える方だけでなく、将来、私たちに子どもができれば、もしかしたら恵成式に参加してくれるかもしれない。できればずっと恵成式が続いて、未来の20歳の方が参加してもら

えたらうれしいです。

でもその時々で、20歳の考え方や取り巻く環境は異なると思っています。どんな瞬間も一生に一度のことですが、この式典は人生の中でも特別なものだと思います。だからこそ、一つのことにとらわれず、その時の人たちの考えや思いを大切にしてほしい。それが、私たちが未来の20歳の方に向けた激励です。



▲鈴木さん(左)と前田さん(右)

【令和5年恵成式実行委員】



令和5年  
恵成式実行委員会  
二十歳の  
決意

伊藤 眞矢さん(上矢作中卒)  
仕事を頑張ります!!



小曽根 雅彰さん(串原中卒)  
柔軟に対応できる人になりたい!



伊藤 純平さん(明智中卒)  
もう1回気持ち引き締めて頑張る!



西尾 美由さん(山岡中卒)  
勉強と趣味の両立を頑張ります!

山本 理人さん(恵那東中卒)  
人に見返りを求めない😊



鈴木 淳さん(恵那西中卒)  
カッコイイエンジニアになる!



佐藤 辰樹さん(恵那北中卒)  
社会のビッグウエーブに乗りたい👏👏👏👏👏👏



水野 樹希さん(山岡中卒)  
人生楽しみます😊



前田 孝哉さん(上矢作中卒)  
自分たちの力で新しい式典を作ります👏



井口 陽輝さん(明智中卒)  
カッコイイ大人になります👏



西尾 葉凧さん(恵那西中卒)  
何事も楽しむ!



加藤 明日香さん(岩邑中卒)  
精いっぱい生きていきます!



三宅 李乃さん(串原中卒)  
全力で楽しく生きていきます!



宮地 琉聖さん(岩邑中卒)  
学業と就活を粘り強くやりきる!



林 真凜さん(恵那東中卒)  
人生真っすぐ突き進みます!



二十歳のメッセージ 井口 陽輝さん(明智中学校卒)

皆さんは今、20歳になってどんなことを感じているのでしょうか。私が今1番に感じているのは、大人になること、社会に出ることへの不安です。進学をして一人暮らしをしてみると、今まで家族の支えがあって、学業や部活動に専念できたことを痛感しました。大人になること、自立することは簡単ではありません。しかし、私たちが支えられて生きてきたように、次は誰かを支える人間に成

長していきたい。それを私は大人になることだと考えます。不安も期待もあるこれからの人生ですが、両親や友達、そして私たちがこれまで育ててくれた恵那市に感謝の気持ちを忘れず、仲間と支え合っていきたいです。いずれは、成長した私たちが胸を張って、故郷である恵那市に帰ってこられるよう頑張ります。まだまだ未熟ですが、これからもよろしくお願ひします。

二十歳のメッセージ 西尾 葉凧さん(恵那西中学校卒)

私の20歳の抱負は、今よりも自立し、周りを見ることが出来る大人になることです。大学生になり、さまざまな出会いや経験をしました。自分でやらなければならないことが増え、親のありがたみを知ることができました。大学生になって初めてアルバイトを経験し、働くことの大変さを知りました。私は母子家庭で、母親が働くことが当たり前でした。それに甘えていましたが、働いて

いるのに家事もしてくれていた母を、尊敬することができるようになりました。私は、後先考えずに行動してしまうことが多々あります。しかし、それを叱ってくれる周りの友達や家族に感謝をし、次は自分がみんなを支えていけるように自立して、自分の行動に責任を持てるようになりたいです。そして周りを見て行動することのできる、立派な大人になりたいです。

